



発行所 千107-0052 東京都港区赤坂 7丁目5番38号 社団法人 日本PTA全国協議会 発行人 曾我邦彦 電話 03(5545)7151 FAX. 03(5545)7152 ホームページアドレス http://www.nippo-pta.or.jp/

本会は教育を本旨とする民主的の団 体であり、不偏不党・自主独立の 性格を堅持し、PTAの健全な発 展の維持、並びに青少年の幸福な 成長を図ることを目的とする。

「一層力を尽くしていかれることを期待」

～家庭・学校・地域の懸け橋として～

本紙は各校PTAに四部、内訳として「校長・教頭用」、「PTA会長・役員用」、「広報委員会用」、「事務局用」を目安にしています。



皇太子同妃両殿下

皇太子同妃両殿下ご臨席のもと

日本PTA創立60周年記念式典開催

11月20日(木)、日本PTA創立60周年記念式典が、東京・紀伊田町のホテルニューオータニにおいて、皇太子同妃両殿下をお迎えして開催された。席上、PTAの振興・発展に寄与した団体と個人に対し文部科学大臣賞、日P会長賞、多岐にわたりPTA活動に貢献された方に感謝状が贈られた。皇太子殿下は、受賞者の芳名をねがうとともに、「皆さんが今後も手を携えて、家庭・学校・地域の懸け橋として、一層力を尽くしていられることを期待する」とお言葉を述べられた。



皇太子同妃両殿下ご臨席のもと、日本PTA創立60周年記念式典

日本PTA創立60周年記念式典は、ホテルニューオータニの間に、河野洋平副議長・江田参議院議長・堀谷文部科学大臣など多くの来賓の方々のご臨席のもと、受賞者、各地方協議会関係者などPTA関係者約1000人が出席し挙行された。

式典では、国家斉唱の後、曾我日P会長が多数のご来賓に感謝の御礼と受賞者の皆さんへの功績をたたえるとともに、「未来の日本を支える子どもたちが輝くため、みんなで輝くPTA活動を、信頼の和をもつて進んでいられることをお願いする」と式辞を述べた。

続いて表彰に入り、文部科学大臣表彰の静岡県静岡市立中島中学校PTAなど優良PTA団体121団体、岐阜県梅田昭博さんなどPTA振興功労者148人に堀谷文部科学大臣から

皇太子殿下のお言葉

日本PTA創立60周年記念式典に、全国から参加された皆さんと共に出席できることをうれしく思います。戦後間もなく昭和23年、全国各地の小学校・中学校に、児童・生徒の心身の健やかな成長を願って、保護者先く生が協力する組織としてPTAが生まれました。我が国が今日見られる発展に、教育の果たした役割には大きなものがあり、PTAもまた発達成長の年間

主な内容

- 1 面
 - 記念式典
 - きざし
- 2 面
 - 記念式典
- 3 面
 - 記念講演
 - 県P自慢
- 4 面
 - たのしい子育て入賞作品
- 5 面
 - 文部科学省のページ
- 6 面
 - ブロック大会
- 7 面
 - ブロック大会
- 8 面
 - 常任幹事会
 - HPP推薦映画

会長式辞

会長 曾我 邦彦



本日ここに、皇太子同妃両殿下のご臨席を仰ぎ、栄えある日本PTA創立60周年の記念式典を挙げてまいりました。PTAは、昭和23年にPTAが創立された。日本PTAは子どもたちのために数々の活動を積み重ね、大きな成果をあげてまいりました。

昭和23年にPTAが創立された。日本PTAは子どもたちのために数々の活動を積み重ね、大きな成果をあげてまいりました。PTAは、昭和23年にPTAが創立された。日本PTAは子どもたちのために数々の活動を積み重ね、大きな成果をあげてまいりました。

きざし

現在、読者推薦に取り組んでいる学校は多い。その充実度の目安となる学校の図書室の活用の状況である。私が昨年3月まで勤務していた学校の図書室は、今まで経験したことがないくらいだった。一教室分だけの狭い図書室、身体みや放課後に生徒が集まってくる本棚には新書本が並び、生徒が本を手にとっている光景があった。そして、季節ごとの図書室を借り、飾りつけが壁面を彩り、楽しい生徒の居場所になっていた。生徒は本を読むのが好きで、本選びのアドバイザーの先生から、10分間の朝読書では、1冊読み終わると先生がコメントを書き込んでくれる。生徒と先生の一本を通しての交流があった。また、お気に入りの本の一本の帯の作成を手始めに、3学期には4月から読んだ本を参考に工夫した「読書新聞」を全員が作成する。このような年間の取り組みは、本に対する興味を持たせ、このように読書の生活の一部になっている。読書は生徒の生活を支えている。読書教育を支えるのは熱意ある教師や司書の存在を抜きにしては語れない。学校図書室は、優れた学校図書室運営に取り組んでいる区の教育研究図書部との連携が大きな役割を果たしている。図書部は、10月9日から区内の生徒がPTA図書室を読み、その感想を話し合う「書評座談会」を毎年続けていた。先陣を走らせた第50回目の「書評座談会」には、区内14校3名が参加し、熱い議論を展開した。今年度の「書評座談会」は、2階の風になら。当日は、作者の佐藤多佳子氏を講師にお迎えし、すようお話し申し上げ、式辞とさせていただきます。

記念講演

「やれば、できる」

小柴昌俊先生

財団法人平成基礎科学財団理事長
東京大学特別荣誉教授



Table with 2 columns: Year and Achievement. Includes dates from 1926 to 1994 and various awards and positions.

スピーチを聴いて、先生が何をなさりたいのか、何をなさりたいのか、何をなさりたいのか、何をなさりたいのか...

受賞者インタビュー

岡山県立誕生寺
養護学校PTA

熊本県高森町立高森
中央小学校PTA

北海道 森末京子

栃木県鹿沼市立
北小学校PTA

福島県 小島雄一

埼玉県 折原ひとみ

PTA特別推薦奨励
PTA特別推薦奨励
PTA特別推薦奨励
PTA特別推薦奨励

県P自慢 福島県P シリーズ54

子と親とが共に育つPTA活動を

福島県PTA連合会 会長 浪岡 真澄



母親代表者懇話会バスビッションの様相

福島県PTA連合会 研修したことは、各都市で、県下19都市P連で組...

本会は、昭和26年6月 福島のPTA連合会 研修したことは、各都市で、県下19都市P連で組...



県PTA研究大会喜多方大会開会式

たのしい子育て全国キャンペーン2008

「やっぱり家族っていいナ」

家庭の風景／三行詩と写真コンクール入賞作品決定!



「やっぱり家族っていいナ」をテーマにした三行詩... 審査を経て日本PTA会長賞...

小学生の部
「うちの家族」
「いたっ!」応えん席から母の声...

三行詩部門
「兄弟」
「兄弟」
「兄弟」...

中学生の部
「家族」
「家族」
「家族」...

一般の部
「親は子育て あたりまえ」
「親子は知らず知らず 親を育てる」...

中学生の部
「家族」
「家族」
「家族」...

一般の部
「親子は知らず知らず 親を育てる」
「親子は知らず知らず 親を育てる」...

中学生の部
「家族」
「家族」
「家族」...

- 三行詩部門
小学生の部
菅原 峻 (宮城県)
高田 亜優 (静岡県)
西澤 優香 (静岡県)...

佳作受賞者
三行詩部門
西本 航大 (広島県)
大庭 万実 (広島県)...

一般の部
永山 椎麻 (宮城県)
富永 剛 (宮城県)
千吉良 岳 (宮城県)...

中学生の部
福園 尋恵 (宮城県)
徳田(で)子 (鹿児島県)
小・中学生の部
徳田(で)子 (鹿児島県)...

写真部門
田中駿馬 (宮城県)
「うちの家族」



講評
三行詩部門
審査委員 南郷芳明
「やっぱり家族っていいナ」をテーマにした三行詩... 審査を経て日本PTA会長賞...

写真部門
審査委員 房木芳雄
「やっぱり家族っていいナ」をテーマにした写真... 審査を経て日本PTA会長賞...

三行詩部門
審査委員 南郷芳明
「やっぱり家族っていいナ」をテーマにした三行詩... 審査を経て日本PTA会長賞...

一般の部
審査委員 房木芳雄
「やっぱり家族っていいナ」をテーマにした一般の部... 審査を経て日本PTA会長賞...

中学生の部
審査委員 南郷芳明
「やっぱり家族っていいナ」をテーマにした中学生の部... 審査を経て日本PTA会長賞...

文部科学省



エル・ネットホームページのトップページ



視聴画面

インターネットを活用した学びの充実「エル・ネット」

生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において、学習することができ、その成果を適切に生かすことのできる教育の構築を目指す。文部科学省では、エル・ネット(教育情報通信ネットワーク)の活用を推進し、平成20年4月より、

分かってますか?ケータイの危険性

子どもたちが、携帯電話の危険性から守るためには、家庭や学校、行政、関係企業など、社会が一体となった取り組みを進めていくことが求められています。文部科学省では、子どもや保護者向けに、携帯電話の危険性について、

「子ども放送局」は、小中学生を対象に制作する

「子ども放送局」は、小中学生を対象に制作する。この取り組みは、子どもたちが社会のルールを守ることや、

エル・ネットは、インターネットを活用した学びの充実を目指す。文部科学省では、エル・ネット(教育情報通信ネットワーク)の活用を推進し、

発達障害教育情報センターの設置とWebサイト開設

発達障害教育情報センターの設置とWebサイト開設。このセンターは、発達障害のある子どもや保護者のために、

各機関における様々なイベントや事業の取組・模様を配信しています。その中には、日本全国から、

東京国立近代美術館工芸館 所蔵作品展

東京国立近代美術館工芸館 所蔵作品展。この展覧会は、工芸館に所蔵されている貴重な工芸品の展示を目的として、

エル・ネットでは、これからの子どもたちや保護者のために、

きもの輝き 漆木 竹細工の美

きもの輝き 漆木 竹細工の美。この展覧会は、伝統的な工芸品の魅力を伝えることを目的として、

現在、Webサイトにおける情報の拡充に努めているところであり、

全国のブロック研究大会からのメッセージ

北海道ブロック・芦別大会

はぐくもう心豊かな

親子の絆

10月4日・5日



感謝状を受ける黒川会長から日P会長 曾我

分科会は、定審の組織・運営や「家庭教育」「学校支援」「地域連携」に加え、「今日的課題として」「学校給食と食育」「子どもを育む地域文化」「地域のボランティア」とPTAをテーマとして取り上げた。

開催地となった星の降る里芦別市は、かつて炭鉱で栄え、現在は人口1万7000人余りの小さな市である。このような過疎の街でも全道大会が開催できるという意気込みを示そうと、街を挙げての開催であった。

また、地域ボランティア活動の分科会では、話題提供者やパネラーとして、食



グループに分かれて話し合いを行った特1分科会

大会スロガンを「はぐくもう心豊かな親子の絆」研究主題を「子どもと共に学ぶ、楽しむPTA」とし、全道から約800名の参加者が集い、2日間わたって開催された。

1日目の分科会は、会場を5か所に分散して7課題による分科会を行った。5会場は、公共施設が3会場、民間施設が2会場と、会場取り方も街を挙

伝えよう！ あついでメッセージ!!

方をお願いし、具体的な事例の報告がなされた。また、地域とも活動するためにはPTAの積極的なかかわりの必要性も訴えられた。

2日間の全体会場で、北海道宇宙科学技術創成センター理事の植松・努氏から「思うは、羽ぐくもうが、あれば何にでもまき」との報告をいたします。

東北ブロック・盛岡大会

語り合おうイーハトーブの地で「夢」と「誇り」と「志」を

9月6日・7日



全体会

基調講演とパネルディスカッションで構成し、それぞれに7月5日(土)に「分科会事前打ち合わせ会」を開催し、基調講演者、コーディネーター、各県のパネリストの皆さんにお集まりいただいた。

第40回東北ブロック研究大会盛岡大会は、東北各県及び仙台市からPTA会員及び関係者2000名を超過する参加者が集い、(語り合おう、イーハトーブの地で、「夢」と「誇り」と「志」を)の大会テーマのもとに、岩手県盛岡市の盛岡駅周辺の会場で2日間わたって分科会、全体会開催された。

関東ブロック・埼玉県大会

共に生き 共に支え 共に育もう 未来を彩る子どもたちの夢を

10月17日・18日



グランドフィナーレ

子どもたちの夢を「スロガ」に掲げ、10月17日(金)18日(土)深谷、熊谷両市で開催された。



特別課題II

え方が紹介された。また、特別課題IIは毎年開催する家庭啓発セミナーの一環として岩手県PTA連合会母体委員が主催する分科会である。親が変われば子どもが変わる」と題する明星大学の高橋史朗先生の基調講演を受け、充実した分科会となった。

本研究会では、特別課題として分科会を設け、感謝状・表彰状の贈呈を行った。特別課題Iは「先人から知恵・生き残り」盛岡市内小学校PTAの方を学ぶ教育、先人教育歌へと進む。アトラクション。特別課題IIは「子どもを支える家族の絆」をテーマに開催された。特別課題Iでは、「先人教育の心」を学ぶ家族の絆をテーマに開催された。特別課題IIでは、「先人教育の心」を学ぶ家族の絆をテーマに開催された。特別課題IIでは、「先人教育の心」を学ぶ家族の絆をテーマに開催された。

大会の目録は会場を熊谷会館に移し、国歌斉唱、来賓祝辞、大会宣言決議の後、陰山英男氏を講師に迎え「学力は一年で伸びる」という演題で記念講演を行い、「夜11時に降りてきてはいけない」「朝食をしっかりと食べる」「小学校の学習を完全に覚える」など陰山氏のお話に参加者は熱心に聴き入っていた。

グランドフィナーレには卒業式で「一番歌」を作詞された高橋先生のピアノ伴奏によるP連のコーラス隊による歌の披露があり、最後に大会アーミングクである「ふさふさ」を会場の全員で熱唱した。

好天にも恵まれ、日本一暑い「まち」熊谷で熱い感動を受けた2日間だった。

東北北陸ブロック・石川県・七尾大会

親育ち



とフロアに一体感を持って... 成長していくであろうと... 言葉が印象的であった。

9月26日・27日



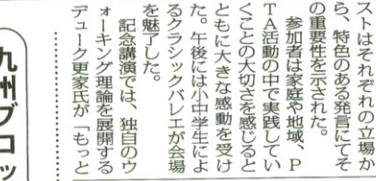
朝原宣治氏(右)と大森重直氏(左)

朝原宣治氏(右)と大森重直氏(左)の挨拶... 朝原氏に同行されたシノブ...



第33回日本PTAブロック研究大会 岡山県笠岡大会

白石踊で幕を開けた... 午前中のシンポジウムでは、早坂・朝では...



デューク更家氏

豊かに生きていく一歩と... 一緒に歩きましょう」と題した...

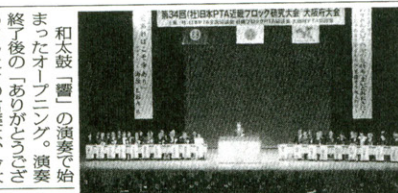
重要性や意義を改めて確信... 私たち大人が、未だを棄...

分科会の参加者からは... 大切な事例を早速取り入れて...

近畿ブロック・大阪府大会

わすれんといて 感謝の気持ち まいどおおきに!

11月3日



和太鼓「雷」の演奏で始まったオープニング。演奏終了後の「ありがとうござい

ました。の言葉は、今大会の代表者がパネラ...

記念講演では、漫才タレの海原じゅりお氏による...

第1分科会は、各府・県・市PTA協議会の代表者がパネラ...



会場の様子

第5分科会は、各府・県・市PTA協議会の代表者がパネラ...

第6分科会は、各府・県・市PTA協議会の代表者がパネラ...

第7分科会は、各府・県・市PTA協議会の代表者がパネラ...

中国ブロック・岡山大会

伝えよう命の輝くメッセージ 心豊かな子どもたち

11月8日



第38回日本PTA中国ブロック研究大会が中国5県

月に「PTA解体」と発言したと... 謝罪するとの...

シンポジウム 成20年度は報告書を作成し、「早坂・朝では...

第1分科会は、各府・県・市PTA協議会の代表者がパネラ...

第2分科会は、各府・県・市PTA協議会の代表者がパネラ...

第3分科会は、各府・県・市PTA協議会の代表者がパネラ...

第4分科会は、各府・県・市PTA協議会の代表者がパネラ...

九州ブロック・鹿児島大会

共に学び高めあい、拓こうこれからを 伝えあおう、子ども心、大人の心

11月1日・2日



第53回九州PTA研究大会

大会1日目は、特別分科会を含む10分科会におい...

大会2日目は、鹿児島アリーナを会場に、曾我邦彦...

開会行事の後、伊地知敏徳大団長から113名の個人...

近畿ブロック研究大会

11月3日の文化の日

が、11月3日の文化の日... 祝日開催という初めての...

第1分科会は、各府・県・市PTA協議会の代表者がパネラ...

第2分科会は、各府・県・市PTA協議会の代表者がパネラ...

第3分科会は、各府・県・市PTA協議会の代表者がパネラ...

第4分科会は、各府・県・市PTA協議会の代表者がパネラ...

第5分科会は、各府・県・市PTA協議会の代表者がパネラ...

第6分科会は、各府・県・市PTA協議会の代表者がパネラ...

第7分科会は、各府・県・市PTA協議会の代表者がパネラ...

第8分科会は、各府・県・市PTA協議会の代表者がパネラ...

